

参加者アンケート

【回答者数：85 名】

雪氷学会 公開シンポジウム「あなた自身を守る、吹雪からのサバイバル」
参加者アンケート

本日は、雪氷学会の公開シンポジウムにご参加頂きましてありがとうございます。

以下のアンケートは、本日のシンポジウムに参加された方々を対象に、道路吹雪災害に対する日ごろの意識など伺うとともに、今後の学会活動の参考とするものです。ご協力をお願いいたします。

Q1. 今回のシンポジウムをどこで知りましたか？

- ☐チラシの案内を見て ☐ポスターの案内を見て ☐案内のメールを見て
☐学会などのHPを見て ☐知人などから聞いて ☐通りすがりにたまたま

Q2. 今回の公開シンポジウムの内容は良かったと思いますか？

- ☐とても良かった ☐良かった ☐悪かった ☐とても悪かった

Q3. 道路での吹雪災害に対する次の準備や心構えについて、以下の設問にお答えください。

A：やむを得ず吹雪の中をドライブする際には、長靴、防寒服、水などを用意している。

B：冬は、運転前に天気予報を確認し、吹雪に巻き込まれないか注意している。

C：吹雪が激しそうな場合には、できるだけ車で長距離運転を控えている。

D：距離をドライブしているときには、この先の道路状況や天気情報を入手している。

E：運転中、吹雪が激しくなったら引き返したり、どこかに避難したりするようにしている。

F：吹雪に際しては、特に準備をしていない。

Q3-1 これまでどんな準備をしてきましたか？当てはまる項目、全てに印を付けてください。

- ☐A ☐B ☐C ☐D ☐E ☐F

Q3-2 このシンポジウムを聞いて、今後、吹雪災害に備えて心がけようと思った事項はありますか？当てはまる項目、全てに印を付けてください（複数回答可）

- ☐A ☐B ☐C ☐D ☐E ☐F

Q5. このようなシンポジウムは、今後も開催したほうが良いと思いますか。

- ☐ 思う ☐ 思わない ☐ どちらともいえない

Q6. あなたの冬の運転頻度を教えてください。

- ☐冬も長距離ドライブをしている ☐冬はできるだけ長距離ドライブをしない
☐一年を通じて長距離ドライブはしない ☐殆ど運転しない、または免許を持っていない

Q7. あなたの性別を教えてください。

- ☐ 男性 ☐ 女性

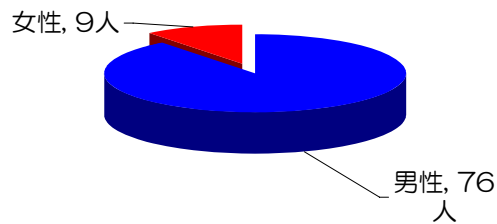
Q8. あなたの年齢を教えてください。

- ☐20歳未満 ☐20歳代 ☐30歳代 ☐40歳代 ☐50歳代 ☐60歳代 ☐70歳代

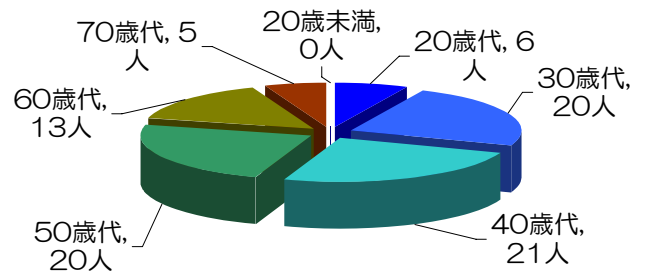
その他、ご意見や、良かったところや聞きたいことなど、感想があればご自由にお書きください。

アンケートへのご協力ありがとうございました！お気をつけてお帰りください。

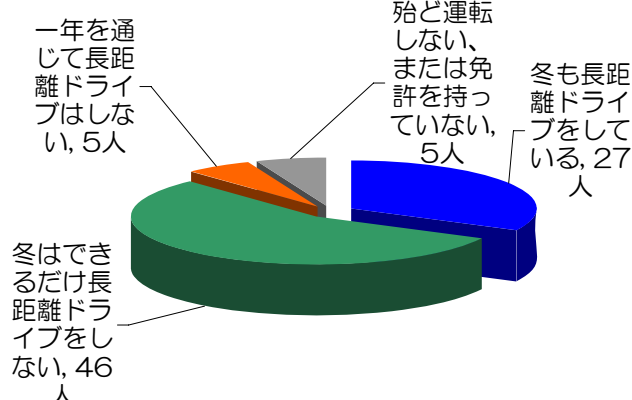
あなたの性別を教えてください。



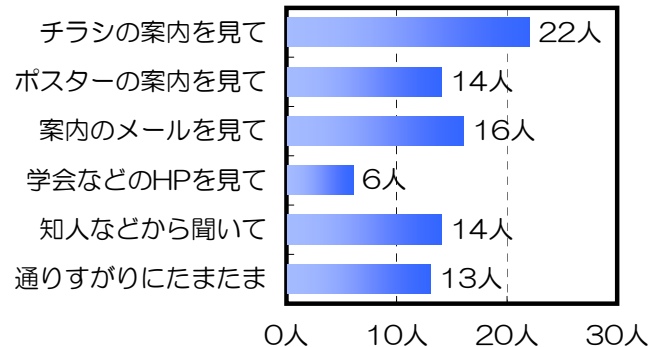
あなたの年齢を教えてください。



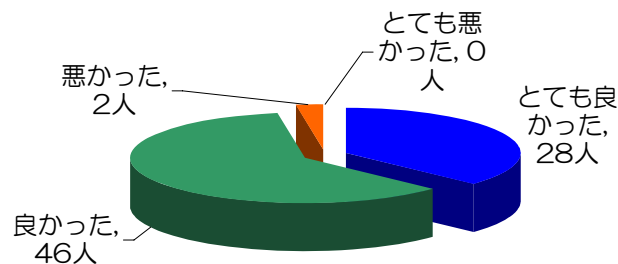
あなたの冬の運転頻度を教えてください。



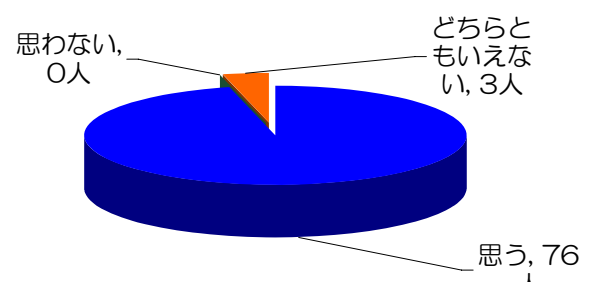
今回のシンポジウムをどこで知りましたか？



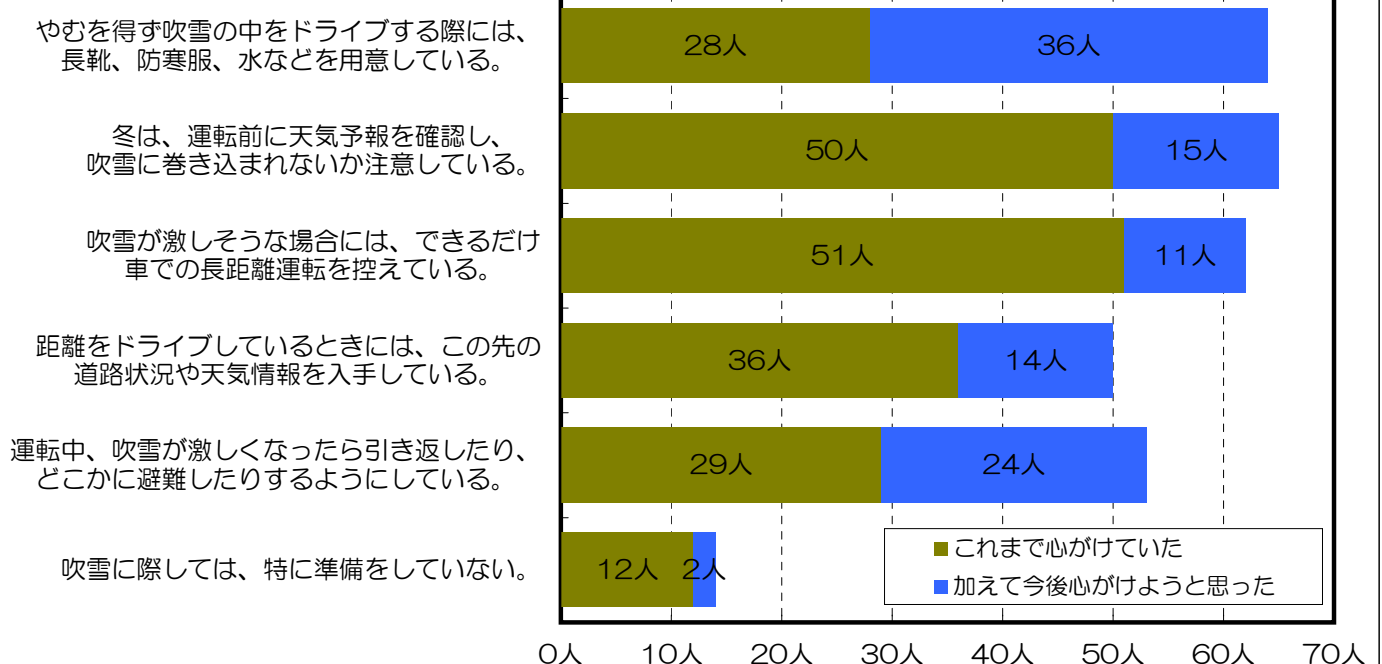
今回の公開シンポジウムの内容は良かったと思いますか？



このようなシンポジウムは、今後も開催したほうが良いと思いますか？



Q3.これまでの道路の吹雪災害に対する準備や心構えは？ また、このシンポジウムを聞いて今後心掛けようと思ったことは？



雪氷学会 公開シンポジウム「あなた自身を守る、吹雪からのサバイバル」 参加者自由意見

声が聞こえにくかった。
プレゼンの内容がおもしろくない。
今回の事例で開発局の対応に改善点はないのがの検証が欲しかった。
結局吹雪で立往生したら開発局にtelすればよいのか？
気象協会の予報があたっていたのがわかるが、100台が立往生することは予測できていたのか？それはJWAの仕事ではな
消防の方の話は役立つことで為になりました。
「情報」を集めよ！問い受けれど、すべてネットありきのやり方にギモンがあります。
救助を優先すべきお年寄はインターネットなんか知らない人が多いですよ。
PC操作がおそまつ。
Q3の各項目は実体験からすべて用意しており、何度も人助けしている。
一般の方の、ふえ、スモールライトの携帯のアイデアが良かった。
一般の人の声が少なかった。
もっと「一緒に考える」事の出来る様な雰囲気にして頂ければ
会場が狭かった。
クリスマスツリーが邪魔だった。
会場に来やすいのは良いが、収容人数が少なかった。
ゲストが多いですね。最初から見たかったです。
個人的に情報を得ることがないので、通りがかりでしたがいろいろ参考になりました。
災害の被害を受けない為の対応策、災害が起きた場合のサバイバル術を的確にまとめておくことが重要と思いました。いい機会を提供して頂き、ありがとうございました。
是非継続してください。
時期が良い。吹雪立往生の恐ろしさを想定できて備える心構えとなった。リアフオグランプが欲しい。
視程50～100mで追突の危険性が高まるという話はためになった。
自分では運転しませんが、家族のものが運転している時、少しでも安全にその場を脱出出来る様努めたいという思いを強く
数年前に国道5号の余市ーニセコ間で夜間地吹雪にあった際、数十台の車がハザードをつけたままゆっくりと隊列をつくっ
ていて、うまい方法だと思った。
シンポジウムの中でハザードをつけたまま走行することはよくないとのことだったが、ポンピングブレーキのように冬のローカ
ルルールとして浸透させてはどうか。
リアフグランプの話は興味深かった。義務化してはどうか。
雪に強い除雪車に先導してもらえると助かる。そういう体制はとれないか。(除雪車ではなく北海道開発局専用のものがあつても良いのではないか)
図表や動画を多く用いており、理解しやすかった
説明だけじゃわかりにくい。
資料の中に「吹雪の時にはどうしたら良いか？」の問いに対する答え、ヒントなるものがあらかじめあれば、聞いていてもすん
なり理解できる。
ふらっと立ち寄ったときに、途中で聞いても誰でも理解できると思う。
ぜひ今後も続けて欲しい。
待機時の携帯での情報入手等に心がけたいと思いました。
対策は難しいと思います。
もしあったら嬉しいと思います。
大変参考になりました。
有意義な会を催して下さった、主催者関係者の皆さんに感謝します。現地の写真をたくさん見る事が出来て良かった。
会場がもう少し広いと良いと思った。
大変参考になりました。今後の業務に活かしたいです。
道路の吹雪対策は重要と思った。
対策を進めて欲しい
気象予測の精度向上を図って欲しい(南空知に警報発表なし)
何故公開でシンポジウムを行ったのか。
広く市民に冬の安全ドライブを啓発する目的であるなら、聞く方のターゲットを内輪の人ではなくもっと一般人が多く集める
工夫が必要では？
こういう試みは大変良かったと思います。
広い会場で開催したほうが良い。
多くの人が参加できるように関係者ばかりでなく、一般の人も参加できるような案内が必要である。
吹雪の時の渋滞情報、吹雪情報をこまめに一般人の人でも分かるようにラジオ、テレビで10分間隔位で出す。
吹雪の予兆と準備などについて、参考にして行動したいと思った。
フラッシュ撮影はもっと少なくお願いします。
勉強になりました。
北海道の冬期降雪時は夏期のいづれとも違い全くの異常時と認識することである。特に吹雪気象が出ているときは危険だ
から長距離は勿論短い区間でも恐ろしいことと考えなければならない。国や道の管理者は良く除雪してるのが天然気象に
は勝てない。一般に道民の認識は、甘い甘い。だから年に何回も立ち往生するのは当たり前である。
このシンポの目的は何かははっきりしないが、シンポジウムのタイトルどおりにやるには、各機関が上記を徹底的にPRし、甘い
認識を変えさせることにつきる。以上。
もっとたくさんやった方が良いと思います。TVとか新聞とか、一般の人も知れるような方法でも